

令和元年度 第3回監査委員会 議事録

開催日時:令和2年2月21日(金)16時~17時

会場:東館3階大会議室

出席者:(監査委員)上原委員長、小林委員、中尾委員

(病院側)北川病院長、大坪副院長、長谷川副院長、安田室長、山田副室長、瀬上専任医、村主幹、梶ヶ谷師長、阿部係長、水戸係長、清水参与、大川技術課長、山口次長、仲田課長補佐、根津事務部長

(進行)(事務部管理課)桑原主事

(議事)

(1)特定案件に対するヒアリングについて

医療安全統括会議議事要旨に記載された医療安全に関する具体的事案のうち、監査委員が選択した事案について、関係者からのヒアリングを行った。

今回は令和元年度第6回から第9回の医療安全対策委員会医療安全総括会議から対象事案を選択した。

(病院側より)

選択された事案についての詳細な状況、問題点の抽出、整理、今後に向けての対策等の説明がなされた。

(監査委員より)

- ・ 監査委員からの質問に対して、十分な検討と準備がなされている。また対策も熟考されており、ヒアリングすることで病院が医療安全に関する事案に適切に対応していることが裏付けられた。
- ・ 複数の診療科が関わる症例については、専門性が適切に発揮され、相互理解を深めることで、エラーが改善されると思う。作成された安全に関する対策を関係者に十分周知していただきたい。

(2)令和元年度医療安全に関する各種委員会の活動状況

令和元年10月から令和2年1月にかけて陪席した医療安全に関する各委員会についての報告—中尾委員

1) 令和元年 10月23日(水) 第114回医療機器安全管理委員会

大学病院本館4階第4会議室

- ・医療機器の定期点検状況の報告や特定機能病院としての医療機器に対する定期的な研修状況の報告が適切になされていた。
- ・医療機器研修実施報告書の改訂について活発な議論がなされ、委員長の判断により次回の委員会までに関係部署において検討するように指示されるなど、医療安全の向上を見据えた適切な対応がなされていることを確認した。

2) 令和元年 11月15日(金)第17回未承認新規医薬品・医療機器評価委員会

大学病院本館4階第1会議室

- ・医薬品の使用状況や医薬品の情報について、資料に基づき説明がなされ出席者に周知されていた。また、禁忌医薬品や適応外医薬品の情報について、資料に基づき説明がなされ出席者へ周知されていることを確認した。

3) 令和2年 1月30日(木) 第7回高難度新規医療技術評価委員会

大学病院本館4階医療安全管理室

・全体を通して、高い医療安全に対する意識に基づき、各委員が真剣に審議を行っていることが分かった。特に未だ行なっていない手術手技ではあるが、合併症の起こる確率が殆どないとされるケースについて、「万が一」のことが起こったときどうするのかということについて解決がなされなければ申請を認めないという医療安全に対する姿勢は高く評価できると感じた。

4) 令和2年 1月8日(水) 第10回医療安全統括会議

大学病院本館4階第1会議室

・医療安全に関係する各委員会からの報告が適切になされていることを確認した。
・1か月間の全死亡事例が、毎月開催されている医療安全統括会議に報告されていることが確認された。その中で特に会議で検証が必要であった事例は、関係者同席の上詳細な説明と報告がなされており、出席者との間で活発な審議が行われ、医療安全の向上につなげる方向性が確認できた。また、死亡以外の事例についても、必要性があると判断された事例は詳細な報告がなされていた。
・医療安全統括会議で審議される事例の選別について医療安全管理室に確認したところ、毎週月曜日に前週の木曜日までに集計された事例を全件医療安全管理室の専任医師を中心に内容の精査・確認を行っているとのことであった。その際医療安全統括会議での説明や報告が必要と判断された事例が、次回の会議にて審議されているということであり、そこには審議事例の選択に関して恣意的な判断が入る余地はないことが確認された。

(3) 大学病院から

大坪副院長より「特定機能病院承認要件に関する評価表」が監査委員に提示された。内容は平成29年度から令和元年度の3年間に行った特定機能病院での医療安全に関する業務について大学病院が行った「自己評価表」となっている。自己評価に対して監査委員からの評価の依頼があり、上原委員長が受理した。

(4) その他

・次回の予定について

前回の委員会で決定したとおり、令和2年4月に開催する。日程は別途調整の上、通知する。